

# くすのき小学校 学校だより

四條畷市立くすのき小学校 校長 花岡 純  
大阪府四條畷市二丁通町18-1



No.13  
2025  
10月  
10月23日  
(木)  
発行

ひだり にじげん よと しょうがっこう  
左の二次元コードを読み取っていただくと、くすのき小学校の  
HPにアクセスできます。学校だよりをカラーでも閲覧できますの  
で、ご活用ください。

## 一人ひとりが輝いた運動会



9月12日から始まった運動会の練習中、私に、こんな話をしてくれた人がいました。「緊張するわ～」と言しながらも笑顔で朝礼台にあがる子、「声を出して応援するのが楽しいねん」とエール交換に参加する子、「たいこの合図に、みんなが合わせてくれるのが楽しい」とみんなの気持ちを1つにする子、「みんな、どんな練習してやるかな」「自分でできることないかな」と自宅や別室から参加した子、「○○さんが、すごい頑張っててん」と友だちのいいところを認められる子、いろんな参加の仕方があっていい、そして、一人ひとりの心が動いた運動会になったと思います。



学校だより No.11 でお伝えしたように、運動会を通して子どもの成長につなげたいという思いで各学年が取り組みました。印象的な場面で、4年生の練習の最後に、互いの学級の団体演技を見合い、頑張りを紹介する場面がありました。子どもたちの顔がとても嬉しく、友だちから賞賛される言葉がけがお互いの成長を実感できる一場面でした。とても素晴らしいです。



また運動会後に、保護者の方からも心温まるメッセージをいただきました。「(家でも)練習めっちゃ頑張っていて、練習のときに先生がこう言ってて」とご家庭でも運動会の話をたくさんして、練習もたくさんして、楽しく取り組んだ様子を伺い知ることができました。学校も、保護者の皆様のご支援のなか、子どもたちが輝く運動会になったのではと、嬉しく思います。

およそ1ヶ月をかけて、取り組んだ運動会という大きな行事、私が知らないところでもたくさんの輝きがあり、たくさんの励ましの言葉で、子どもたちは、たくましく成長したこと思います。ありがとうございました。

後期の児童会がスタートしました。10月21日の集会の司会進行、緊張しながらもうまく進めることができました。児童会の人にどうして立候補したのと尋ねたところ、「最後の学年で、みんなをまとめて、楽しい学校にしたい」と答えてくれました。みんなが楽しめる学校にするために、何ができるか、考えて行動できるといいですね。前期児童会代表のみなさん、この半年間、よく頑張りましたね。特に運動会では、全校児童、保護者・地域の皆さんの中でのあいさつは本当に立派でした。自分の言葉で思いを伝えられる力を身につけてこられたのだと感心しました。集会や児童会活動を通して、担当の先生から賞賛のことばをたくさんいただきました。その言葉を受け止める力があってこそ子どもの成長ですね。

いのち たいせつ じぶん い かた  
命の大切さ～自分の生き方につなげて～  
6年生が修学旅行に向けて平和学習に取り組んでいます。「戦争の怖さ、命の大切



さ」について、集会で話してくれました。「過去を振り返り、自分の生き方につなげていく」。代表の児童が宣言したことばです。

「自分の生き方につなげていく」とは、どういうことでしょうか。今なお続く戦争をなくすことは、今のみなさんには、難しいことかもしれません。でも、今、目の前にいる友だち、家族、先生、そして自分を大切にすることはできると思います。どんな言葉をかけたら勇気づくのか、どんな言葉をかけたら心が温まるのか、6年生のみんなが、1~5年生のお手本になれるといいですね。今、自分にできることを自分で考えて、自分の生き方につなげていってほしいと思います。

### 遠く離れた海外から絵画交流

四條畷市姉妹都市アブツシュ市(ドイツ)の絵画を児童下足室に掲示しています。海外の子どもが描いた絵、それぞれの文化があって、興味深いです。絵を見ると、意外にも、日本の漫画文化、他国でも人気なんです。



### くすのきサンタ出張中

くすのき小学校20周年の周年行事の一環で、商業施設に、子どもたちが色を塗ったサンタが展示(マチコミメールで案内しています)されています。「未来」をテーマに思いをのせたいろんなサンタ、子どもの発想力のすごさを感じますね。



また、10年前に誕生して四條畷市内にいるサンタが同窓会と称して、商業施設に集まっています。10体集まるところですね。再会を懐かしんでいると思います。